



熊 本 子 ど も 囲 碁 便 り



No.1 9 2013. 7. 20

発行：NPO法人

熊本子ども囲碁普及会設立準備室

託麻囲碁クラブ内 096-382-0174



広がっています！ 子ども囲碁の輪

この数カ月、新たな囲碁講座や教室が増えました。蓮台寺教室、さくら通り教室、城南町公民館「初めての囲碁教室」、城北アソカ保育園の囲碁教室等。

そしてこの秋から武蔵が丘コミュニティセンターで新しく囲碁教室が始まることになりました。チビッコ棋士達の輪がますます大きくなりそうな気配です。

阿蘇で交流囲碁大会開催

こんにちは！ヒカルの碁スクール『阿蘇』の藤崎です。



阿蘇は涼しいとはいえ、日中はかなり暑い今日この頃です。みなさん、お元気ですか？

6月30日に私の教室で、熊本・大分子供囲碁交流会が開かれました。

この大会は、通信教室生のご父兄から棋力アップの特訓指導碁会を開いてほしいとのご提案を頂き、私でお役に立つならとお引き受けさせてもらいました。

我家の教室は定員20名位ですので、今回は上級から有段までとさせて頂きました。今後ご要望があれば、初級、中級の方の大会も出来たらと思います。

今回の参加者は、大分から3名と熊本から10名の小中高生、私を含めて大人4名でした。遠くは、大分の佐伯市や熊本の玉名市からも来て頂き、ご父兄の情熱を感じました。指導陣は、私と肥後本因坊を防衛したての畠中忠俊先生と今年大分県で毎日アマ本因坊と朝日アマ名人戦の二冠を獲った中学3年の宮脇優太君です。

畠中先生と宮脇君は、十段で六局ずつ、私は九段で八局打ちましたが、皆さん強くて相当苦戦していたようです。一人4局打ちで全員指導碁を打ってもらいました。

お昼は、近くにある国立青少年交流の家でバイキングを父兄の方と30名一緒に楽しく食事をしました。料金500円の割には、美味しかったと好評でした。ここは、宿泊もシーツ代と食費のみで泊まれるので、普及会でも囲碁合宿などを企画できるかもしれません。

昼からは、賞品のスイカやさくらんぼ目指して連勝者同士の熾烈な戦いが繰り広げられました。また、最終局

では、畠中、宮脇両先生の模範試合があり、有段者には勉強になったと思います。軍配は熊本に上がりましたが、宮脇君もまだ若いので捲土重来*を期した事でしょう。優勝は、高橋慶多君の御祖父様で貫禄を示されました。優秀賞は、藤川浩希君、植田恵さん、芦田華さん、畠中つゆみさん（忠俊先生の妹）の4名でした。

今回の大会で、参加者の皆さんが楽しんで下さり、棋力も少しはアップして頂けたら、主催者として嬉しい限りです。また、ご協力して頂いた藤川ご夫妻、森ご夫妻、並びにご父兄の皆さん有難うございました。今後も、こういう大会を定期的に開催できたらと思いますので、ご要望、ご意見を頂けたら有り難いです。

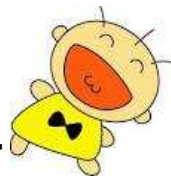
*けんど-ちょうらい【捲土重来】

意味…一度敗れたり失敗したりした者が、再び勢いを盛り返して巻き返すことのたとえ。巻き起こった土煙が再びやって来る意から。▽「捲土」は土煙が巻き上がることで、勢いの激しいことのたとえ。「重来」は再びやって来ること。もとは一度敗れた軍が再び勢いを盛り返して攻めて来ることをいった。「捲」は「巻」とも書く。また、「重」は「じゅう」とも読む。

藤崎幸次郎

ヒカルの碁スクール『阿蘇』TEL050-3481-7045PC メール itigoitie@aso.ne.jp

「囲碁」楽しんでいます



城北アソカ保育園

5月の中旬から、囲碁教室がはじまり毎週火曜日に行っています。

「石を取るゲームです」と聞いて、それまでほとんど触れたことのない囲碁に、子どもたちは興味を示しました。「囲ったら取れる」というルールに、子どもたちはすぐに理解し、楽しんであそぶようになりました。自由時間になると「先生、囲碁しよう!」「〇〇ちゃん囲碁しよう」と誘い合って遊びが広がっています。

朝の登園が遅かった女の子が、「囲碁ばせなんけん、お父さんと行く。」と父親の早い出勤に合わせ、登園してくるようになった子もいます。

一対一での対局は、相手を独占でき、その時間は、自分と相手の二人だけの時になるということも、子どもたちは好んでいるように思います。囲碁教室が始まり、2ヶ月が過ぎますが、囲碁の先生方が来園されるのも楽しみにしています。 何より囲碁を楽しんでいます。



七月一六日 囲碁教室の
ひとコマ

『九州子ども囲碁普及事情（佐賀県鹿島市の巻）』

囲碁文化の伝承をしたいという思いのある方はいるものです。

佐賀県鹿島市日本棋院鹿島支部長 藤永勝之さんという方です。10年くらい前から市の教育委員会の協力を得て「ヒカルの碁教室」を開催されております。

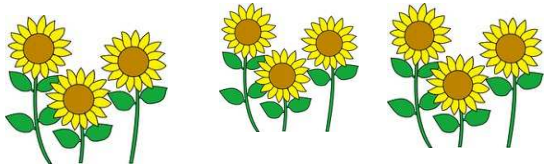
先日、普及に関する話を聞くため鹿島まで伺いました。鹿島市では囲碁発祥の地としてイベントが開催されておりました。

平安時代に活躍した囲碁名人 寛蓮が当地の出身です。寛蓮は、碁聖と称えられた僧で「碁式」という日本最初の囲碁のルールを醍醐天皇に献上しました。西暦913年（延喜13年）のことです。今年で1100年目にあたります。今年5月より11月下旬まで市をあげて記念事業を開催されています。

10月10日・11日は市内4つの小、中学校で「ふれあい囲碁」と銘うって入門教室もするそうです。

皆さんご存じの方が多いと思いますが、寛蓮の遺徳顕彰の意もこめて1952年（昭和27）から、毎年6月に「祐徳本因坊」という西日本のアマ本因坊を競う大会も開かれております。

興味のある方は「囲碁発祥の地」鹿島を訪問されては如何でしょうか。



「熊本母と子の囲碁教室」 江藤茂 （熊本市東区下江津 3-4-7
TEL096-370-2263 ）

私のお薦めの一冊～「囲碁とっておきの話」 著者：秋山賢司 文集文庫

著者は昭和21年神奈川県生まれ。早稲田大学卒で在学中は囲碁部で活躍、学生囲碁連盟幹事を務める。卒業後、囲碁雑誌編集者を経てフリーの囲碁ライターとなり、今や押しも押されもしないこの世界の第一人者である。朝日新聞の名人戦などを担当、「春秋子」のペンネームで観戦記を執筆。他にも様々な囲碁雑誌の執筆中で主なものに「週刊碁」がある。著書には他に「碁のうた、碁のころ」の名著がある。

本書は1994年発行本で著者の永い観戦歴の中から特に今まで盤側で見てきたプロ棋士の姿や、棋譜に載らないこぼれ話などを綴ったエピソード集でおなじみのプロ棋士、木谷実、呉清源、坂田栄男、藤沢秀行、大竹英雄、林海峯、石田芳夫、加藤正夫、趙治勲、小林光一、武宮正樹からアマチュア碁界、中国、韓国の棋士までそうそうたる棋士が登場。どのページも飽きることのない興味の尽きない話の連続であるが、その中で、私が特に印象に残ったのが名人戦（昭和62年第12期名人戦加藤正夫名人対林海峯七番勝負第三局）での二手打ち事件と橋本宇太郎の言った「碁は百年をつなぐ」の名セリフである。囲碁の初心者から高段者の方まで全国の囲碁ファンに贈る文句なしに面白く、楽しめる一冊である。

熊本市中央区帯山在住 後藤 渉

大会等のお知らせ

● RKK第一回少年少女囲碁将棋大会「入門教室」

日 時 8月18日（日）午前10時～午後4時（午後は自由対局です）
場 所 熊本市東部交流センター（熊本市東区戸島 2588-1 TEL096-349-0888 ）
会 費 500円（9路盤セットをさしあげます） 昼食、飲み物持参
問い合わせ 熊本子ども囲碁普及会事務局 096-382-0174

★子どもたちの囲碁、将棋大会が同じ会場で行われるのは全国的にもめずらしいことです。

当日は、囲碁棋士 鶴山淳志七段・久保秀夫六段・吉原由香里六段

将棋棋士 中田 功七段・豊川孝弘七段 という豪華なゲストを迎えての大会となります。

なお、トーナメントの部、交流戦の部とも申込は締め切られました。**入門教室の部のみ受け付け中です。**

● 第2回南九州子ども囲碁交流大会

日 時 8月11日(日) 9:30 受付 10:00 開会 (16:00 閉会予定)

場 所 東西コミュニティセンター(人吉市城本町1088 Tel:0966-28-3230)

会 費 1000円(含昼食) ※飲み物持参

申 込 先 日本棋院人吉球磨支部 FAX 0966-28-3113 または各教室、子ども囲碁普及会へ

問い合わせ 熊本子ども囲碁普及会 096-382-0174 ※7月25日申込締め切り

○●○● 初めての囲碁教室を開催します！！武蔵が丘コミセン ●○●○

この9月より菊陽、武蔵が丘方面に「子ども囲碁教室」が始まります。以前から菊陽、合志方面にぜひ、子ども教室をとの声が寄せられていましたが、この度、開催の運びとなりました。

9月から 毎月第1、第3土曜日 午前10時～12時

武蔵が丘コミュニティセンター〒869-1108 熊本県菊池郡菊陽町光の森1丁目 3517 番地 3 Tel:096-232-5697

問い合わせ: 武蔵が丘コミュニティセンターまたは 熊本子ども囲碁普及会まで

菊陽囲碁愛好会の高段者が親切に分かりやすく指導します！



●○●○ パ レ ア 親 子 囲 碁 教 室 ●○●○

★ 8月22日(木) 午後1時半～4時半 参加費無料です！

★ 9月14日(土) 午後1時半～4時半

※対象は5才以上の親子です。ぜひ、たくさんの親子で参加してください。

★ 申込は「くまもと県民交流館パレア」 熊本市中央区手取本町 8 番 9 号 テトリアくまもとビル
TEL:096-355-4300

各地の教室・・・熊本母と子の囲碁教室(096-370-2263)・託麻囲碁クラブ(096-382-0174)・日本棋院玉名支部教室(0968-74-4968)・一新こども囲碁教室(096-352-7639)・尾ノ上コミュニティセンターこども教室(096-340-8731)・玉名立願寺楽碁長屋子ども教室(0968-73-9008)・RKKカルチャーセンター子ども囲碁講座(096-383-3900)・佐土原子ども教室(096-367-1707)・さくら通り・蓮台寺 親子囲碁交流会(080-3377-0407)・日本棋院人吉球磨支部教室(0966-28-3111)

編集後記 7月6(土)7日(日)に開催された「第28回全九州ペアオープン戦」に子どものペア4組と一緒に参加しました。大人のペアでは高段者の男性が女性に注文つけたりして時々トラブルになることがあります。しかし、子どもたちは全くそういう様子もなく、ただただ楽しげに対局していました。そののびやかな対局のおかげか子どもペアは全勝や4勝1敗など見事な成績でした。この夏休みもののびやかに過ごしてほしいものです。(記 西山)